

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公開番号】特開2017-209205(P2017-209205A)

【公開日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-046

【出願番号】特願2016-102927(P2016-102927)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 3 4
A 6 3 F	7/02	3 3 2 Z
A 6 3 F	7/02	3 2 6 Z
A 6 3 F	7/02	3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月2日(2019.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体が通過することによって賞球が払い出される所定領域と、

遊技を制御する主基板に設けられ、前記遊技媒体の所定領域への通過によって払い出される賞球に関する所定情報を表示可能な情報表示手段と、

適正な所定情報が表示できなくなる不正を検知する不正検知手段と、を備え、

前記情報表示手段は、複数の前記所定情報を所定期間ごとに切り替えて表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段A1の遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)は、遊技媒体(例えば、遊技球)が通過することによって賞球が払い出される所定領域(例えば、第2始動入賞口となる普通可変入賞球装置6B、大入賞口となる特別可変入賞球装置7、第1始動入賞口となる普通入賞球装置6A、一般入賞領域となる一般入賞口50A～50D)と、遊技を制御する主基板(例えば、主基板11)に設けられ、前記遊技媒体の所定領域への通過によって払い出される賞球に関する所定情報(例えば、役連、役比)を表示可能な情報表示手段(例えば、表示モニタ29)と、適正な所定情報が表示できなくなる不正を検知する不正検知手段(例えば、主基板11の異常検出用センサ群26(ドア開放センサ)、営業時間を計測するRTC106、等)と、を備え、前記情報表示手段は、複数の前記所定情報を所定期間(例えば30秒)ごとに切り替えて表示可能であることを特徴とする。

上記構成によれば、どのような調整を加えられたかを認識できる。